「福部の教育を考える会」への説明会・意見交換会概要

日　　時	平成２５年　１１月　１２日　（火）　１９：００～２０：３０		
対象団体	福部の教育を考える会・地域住民	参 加 者 数	２５人
場　　所	福部中央公民館		
出 席 者	田中指導係主幹兼指導主事、校区審議室（神谷、小谷、清水）		

	主な意見、質問等	質問に対しての回答
1	学校のＩＣＴ化は、いつごろを目途に進めるのか。	いつ実施するとは明言できないが、教育委員会としては積極的に進めたいと考えている。ただし予算を伴うので、全校で一斉に取り組むことは困難。学校に既に導入しているパソコンも、定期的にソフトとハード共に更新していかなければならず、財政的に余裕がないのが本音である。できればパイロット校（指定校）を定め、その学校から導入して活用法を研究し、ＩＣＴを使った教育を広めていきたいと考えている。
2	仮にＨ２６年度初めに地域として意見が集約され、小中一貫校の方向性が決まったら、実際に移行されるのはいつになるのか。数年先なのか、１０年先なのか、どれくらい未来の話なのかピンとこない。	現時点で、具体的に何年で移行できるとは言えない。方向性が決まっても、新しい学校をつくるには、学校施設の改修、学校のビジョン策定、地域との連携のあり方の議論など、ある程度の時間が必要である。可能な限り早く移行できるように、教育委員会としてもサポートしていきたい。
3	この度、用瀬中と佐治中が統合して千代南中になったが、答申が出てから統合までどれくらいかかったか。	Ｈ２３年９月に佐治中と用瀬中を統合する答申が出され、Ｈ２５年４月に新しく千代南中としてスタートしている。小中一貫校の湖南学園は、５～６年掛かったと聞いている。
4	小規模校転入制度の説明があったが、現在の制度の運用状況はどうか。	４４の小学校のうち、小規模校転入制度を導入しているのは７校になる。選定基準は、児童数が１００名以下の小学校で地域の理解や協力が得られることを条件にしている。この制度で、一番児童が多く通う小学校は１３名だが、一方で募集してもゼロの小学校もある状況である。
5	小規模校転入制度は、中学校では運用しないのか。福部で人口が減るのは紛れもない事実で、福部中の生徒数の増加を図る一案として、中ノ郷中や東中といった近隣の中学校区に対し、福部中への転入を呼び掛けるといったことが運用で可能にならないか。	小規模校転入制度は小学校が対象だが、この制度を利用する小学生は、通学している小学校の校区の中学校に進学できる。例えば、制度を使って神戸小に通う浜坂小校区の小学生がいれば、卒業後には中ノ郷中ではなく江山中に通うことができる。
6	今は小規模校転入制度は小学校のみが対象というが、小学校だけでなく、中学校でも運用できるようにならないか。	今までの説明は現状をお伝えしている。ご意見に対して、この場で中学校でも運用しますとは言えないが、あり方として可能性を否定するものではない。ご意見があったことは受け止めさせていただき、校区審議会、教育委員会に報告していきたい。
7	福部から中学校が無くなるのは残念に思う。子どもの数が減るのが確実な状況なら、それをくい止める意味でも福部が魅力ある学校作りを進め、転入制度で近隣の中学校区から生徒を獲得できるのではないかと考える。小学校だけでなく、中学校も可能なら運用していただきたい思いである。	―

「福部の教育を考える会」への説明会・意見交換会概要

	主な意見、質問等	質問に対しての回答
8	学校支援地域本部とは、誰がどのように組織を動かし活動するのか。	学校支援地域本部には常駐職員を置くのが理想的とされている。他県だが、学校に隣接する公民館に１～２名の職員を配置している例がある。学校からすぐに行ける利点があり、行事やイベントのための人材派遣を依頼をすると、本部が地域のボランティア団体の窓口となるコーディネーターに連絡し、希望に沿った人材の紹介を受ける流れになる。ボランティアの人数調整や運用などは本部の業務としているようである。職員の配置には人件費の問題も絡み、自治体によっては週７時間の勤務にしているケースもある。形として決まったものではなく、地域に合った形で運用していただければと考えている。
9	地域の子どもたちにとって、より良い学校をつくりましょうということのようだが、中学生になろうとする子どもの保護者として話をしておきたい。子どもは「福部中には自分がやりたい部活が無い。その部活をするため他の中学校に行きたい」と言っている。学校のあり方を決めるにあたり、親や大人たちだけで決定するのはどうかと考える。子どもの意見というのはどこにも反映されないものなのか。	校区審議会や教育委員会が、一方的に学校のあり方を決めるものではない。地域で学校のあり方を考えていただくという姿勢である。福部の教育を考える会として、子どもたちの意見を始め、いろいろな意見を踏まえた上で議論を尽くしていただきたい。他の地域の説明会でも、同じことを説明している。提案のあった子どもの意見については、子どもたちにアンケートを取るのもいいだろうし、考える会として子どもたちの生の声を聞く機会をつくるのも一つの案だと思う。意見集約の方法は色々あるだろうが、そうした意見を踏まえた上で、地域としての議論を深めていただきたいと考えている。